

からだの不思議と健康のツボ①

<リフレクソロジーについて>

リフレクソロジーは、事情により病院では治療しない場合の代替療法として、あるいは治療後の治癒を助けるための補完療法として、欧米や東南アジアをはじめ世界各国で行われている代替補完療法の一つです。日本では、ガン治療の後や終末医療の一環としてごく一部の医療機関で採用される以外、ほとんどは民間サロンによるリラクゼーションサービスとして提供されています。

施術では、膝から下の足部分に圧を加えて刺激しますが、同じリフレクソロジーでも東洋系と西洋系では全く違った特徴があります。テレビでよく紹介される足ツボマッサージと呼ばれる東洋系（タイ式や中国式など）は、刺激が強いほど効果が高まると考え、機器を使って強く刺激します（よくタレントさんが絶叫されていますね・笑）。それに対して西洋系では、痛みはリラクゼーション効果を妨げ、施術の効果が薄れる、あるいは逆効果になると考え、機器は使わず人の手による弱めの刺激で、心地よくリラックスして頂きます。両方とも、先人達が試行錯誤を繰り返して築き上げたものですので、一概にどちらが正しいとは言えません。ちなみに maho-do は西洋式です。

ストレス社会といわれる現代、街中には「癒し」や「リセット」をキーワードとした「エステ」「マッサージ」などのリラクゼーションサロンが溢れています。もちろんリフレクソロジーもその一つです。しかし南アフリカ共和国を除き、リフレクソロジストは国家資格ではなく民間資格であり、個々のサロンが人手を埋めるために創設した簡易資格から国際的機関によるハイレベル資格まで実に多様です。なので、サロンで働くプロのリフレクソロジストも、その能力は千差万別と言えます。

maho-do は、溢れかえるサロンの中でも、より高い効果と満足度をご提供すべく、施術はもちろん、解剖学や生理学など、からだに関する知識を十分に習得したリフレクソロジスト*による施術にこだわります。例えば、肝臓や腎臓といった臓器の働きからホルモンの種類と効果、各種病気に関する知識など、様々な知識を持つリフレクソロジストであれば、お客様にとって本当に最適な施術をご提供できるでしょうが、「肝臓はアルコールの分解をはじめ、沢山の働きを持つ」「腎臓はオシッコをつくる臓器」といったレベルでは、反応が見られた部位を指摘するに止まり、長期的な視点に立った真に有効な施術をご提供することは無理でしょう。我々は、お客様自身がまだお気づきでない不調の芽や病気のもとを事前にリセットし、元気でイキイキとした日常を蔭からアシストすることで社会に貢献したいと考えます。

肩こりのときに行く整体や鍼灸、自分へのご褒美として行くエステなどのような外から働きかける施術と違い、お客さまご自身の中にある自然治癒力をサポートするリフレクソロジーは、一般的に効果が見えにくいと言われます。しかし、自然治癒力を強化し健全に発揮させることは、既に現れている不調を解消するだけでなく、これから現れる可能性がある不調を防ぐ手助けにもなります。不調が現れ、病気になれば保険診療が適用され、確かに掛かるお金は少なく済むかもしれませんが、辛い思いは自分持ちです。保険は適用できなくても、健康でいるための保険として我々のリフレクソロジーをお試しになってみませんか？

***maho-do スタッフは、英国政府認定の国際試験認定協会 IEB (International Examination Board) により認定されたリフレクソロジスト国際連盟 IFR (International Federation of Reflexologists) の認定資格を持つ希少なリフレクソロジスト集団です。**